

緊急消防援助隊の車両・資機材の整備により、広域的な消防防災体制を充実強化する

【対策】35 大規模災害等緊急消防援助隊充実強化対策

対策概要：近年、激甚化・頻発化する土砂・風水害や切迫化する南海トラフ地震などの大規模災害等に備えるとともに、緊急消防援助隊の車両・資機材の老朽化を踏まえて、被害状況を早期に把握するための国と地方自治体の情報共有体制の強化、新型コロナウイルス感染症対策を講じた応援力の強化など、大規模災害時の広域的な消防防災体制の充実強化を図るため、緊急消防援助隊の車両・資機材の適切な整備を行う。

府省庁名：総務省

【事例】緊急消防援助隊の車両・資機材の整備

■ 実施主体：総務省消防庁

■ 実施場所：全国

■ 事業概要：近年、激甚化・頻発化する土砂・風水害や切迫化する南海トラフ地震等に備え、緊急消防援助隊の対応力強化は喫緊の課題である。そのため、緊急消防援助隊の拠点機能形成車や特別高度工作車等の車両整備、資機材の充実、情報システムの更新等を実施することで、災害対応能力を図っている。

■ 事業費：34.3億円（令和2年度～令和4年度予算）
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）34.3億円）

■ 効果：緊急消防援助隊動態情報システムの機能の向上を図ることで、国と地方自治体間の情報共有体制を強化し、効果的な活動支援を行うことや、後方支援資機材を積載した拠点機能形成車を配備し、長期化する活動に不可欠な後方支援体制の強化を行うことなどにより、国民を災害から守る緊急消防援助隊の活動体制の充実強化を図る。

緊急消防援助隊の車両・資機材の整備イメージ

【拠点機能形成車】

休憩や宿営等の後方支援に必要な資機材を積載し、現地指揮本部として活動拠点を形成



10消防本部に配備
（5か年加速化対策期間中）

【特別高度工作車】

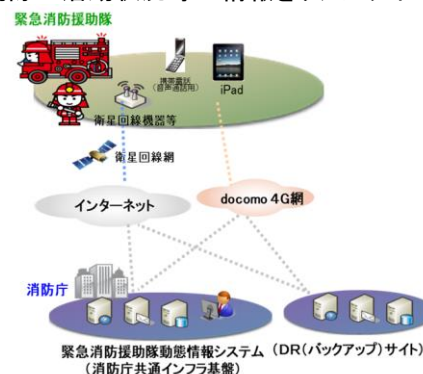
大規模かつ多様化している特殊災害に対し、ウォーターカッター機能や排煙消火機能を活用し、的確に対応



12消防本部に配備

【緊急消防援助隊動態管理システム】

出動隊の活動状況等の情報をリアルタイムに共有



【情報収集活動用ドローン】

被災地において、近接できない災害現場で要救助者の捜索や被害状況の把握を迅速に行い、指揮活動等に活用



37消防本部に配備又は更新